

各教科の評価・評定について

本校の各教科の評価、評定のCuttingポイントを下記のように決めておりますのでお知らせいたします。

記

1. 観点別学習状況の評価

中学校学習指導要領に示す各教科の目標に照らして、その実現の状況を観点ごとに評価し、A、B、Cの記号により記入します。

- | | |
|---------------------|----------------------|
| A：十分満足できると判断されたもの | → 達成値が最高値の80%以上 |
| B：おおむね満足できると判断されたもの | → 達成値が最高値の50%以上80%未満 |
| C：努力を要すると判断されたもの | → 達成値が最高値の50%未満 |

(例) ① 数学 知識・技能

- ・数量や図形などについての基本的な概念や原理・法則などを理解している。
 - ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。
- を評価します。

評価の場面の例：定期テスト、小テスト、授業での説明

② 数学 思考・判断・表現

- ・数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし総合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。
- を評価します。

評価の場面の例：定期テスト、小テスト、レポートの内容、授業での説明

③ 数学 主体的に学習に取り組む態度

- ・数学的活動の楽しさや数学の良さを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。
- を評価します。

評価の場面の例：授業観察（発言内容、取り組み状況）、振り返りシート、問題集への取り組み、ドリルパークへの取り組み、ノートへの記入内容

※個人内評価：自分で学習理解の目標をたて、実践の評価を行い次の学習の改善を考えていくものです。

※評価対象の資料は、定期テストのみとは限らず、いくつかの資料を積み重ねて評価しています。

2. 評定

各教科

中学校学習指導要領に示す各教科の目標に照らして、その実現状況を総括的に評価し、5段階で表示し、記入します。

5：十分満足できると判断されるもののうち、特に高い程度のも	3つの観点を総合して90%以上の達成値
4：十分満足できると判断されるもの	3つの観点を総合して80%以上90%未満の達成値
3：おおむね満足できると判断されるもの	3つの観点を総合して50%以上80%未満の達成値
2：努力を要すると判断されるもの	3つの観点を総合して20%以上50%未満の達成値
1：一層努力を要すると判断されるもの	3つの観点を総合して20%未満の達成値

観点別評価から評定に総括する際には、3つの観点とも丁寧に反映されますから、バランスよくしっかり取り組むようお子様に伝えてください。
なお、各教科について本校では、次のように扱います。

- (例1) 3つの観点があり、その配分の割合は1：1：1になっています。
Nさんの場合： $(80 + 82 + 87) \div 3 = 83$ (%) ですので評定は「4」となります。
※上の数式のカッコ内の数字は各観点の達成率 (%) を表しています。

観 点	観点の割合：通知表では表示されません	評 価	評 定
知識・技能	80%	A	4
思考・判断・表現	82%	A	
主体的に取り組む態度	87%	A	

- (例2) 3つの観点があり、その配分の割合は1：1：1になっています。
Mさんの場合： $(89 + 88 + 96) \div 3 = 91$ (%) ですので評定は「4」となります。
※上の数式のカッコ内の数字は各観点の達成率 (%) を表しています。

観 点	観点の割合：通知表では表示されません	評 価	評 定
知識・技能	89%	A	5
思考・判断・表現	88%	A	
主体的に取り組む態度	96%	A	

※(例1)、(例2)のように評価は同じでも評定は違う場合があります。
(例えば、各観点がオール「A」でも評定が「5」の場合と「4」場合があります。)

※個人内評価も行います。

※特別の教科 道徳の評価は、3学期に文章でお知らせいたします。